

## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月8日

上場会社名 セレンディップ・ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7318 URL https://www.serendip-c.com  
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 竹内 在  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 小谷 和央 TEL 052 (222) 5306  
四半期報告書提出予定日 2024年2月8日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
四半期決算説明会開催の有無: 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日~2023年12月31日)

## (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	14,813	40.8	615	360.3	734	499.4	548	335.4
2023年3月期第3四半期	10,517	3.6	133	120.7	122	65.3	125	253.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 961百万円 (-%) 2023年3月期第3四半期 △115百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	126.42	122.04
2023年3月期第3四半期	28.71	27.77

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	16,991	5,481	32.2
2023年3月期	16,168	4,479	27.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 5,477百万円 2023年3月期 4,479百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,100	25.7	600	84.5	640	84.2	520	66.4	118.75

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

2. 1株当たり当期純利益の予想数値の算出に使用した発行済株式総数は、現在予想される期中平均株式数であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	4,739,901株	2023年3月期	4,550,320株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	229,736株	2023年3月期	228,280株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	4,335,393株	2023年3月期3Q	4,384,426株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が2023年5月より5類に引き下げられたことや雇用・所得環境が改善する中で、緩やかな回復が続くことが期待されている一方、物価上昇や金融資本市場の変動等の影響、世界的な金融引き締め・中国経済の先行き懸念など海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクによって先行きが不透明な経営環境が続いております。

当社グループの事業領域である「モノづくり（経営）」におきましては、半導体を中心とした部品供給不足が解消し、自動車メーカーの国内生産は高水準で推移しております。

このような状況のもと、当社グループは、社会環境や産業構造の急激な変化を敏感に察知して、時代にフィットする「経営の近代化」を実現するため、経営執行にコミットしたプロ経営者をチームで派遣し現場・財務・経営の見える化を徹底し、バックオフィスの生産性向上や製造現場での幅広いITの活用に取り組み、ムダ・ムリ・ムラの排除を実施してまいりました。

当社グループのもう一つの事業領域である中堅・中小企業の「事業承継（投資）」におきましては、中堅・中小企業の事業承継問題が深刻化する中で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済・社会活動が停滞したことに後押しされ、事業承継手段としてのM&Aニーズ（譲渡ニーズ）が一段と増加いたしました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は、前年同四半期に比べ4,295,724千円増加し、14,813,126千円（前年同四半期比40.8%増）、営業利益615,379千円（前年同四半期比360.3%増）、経常利益734,383千円（前年同四半期比499.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、548,062千円（前年同四半期比335.4%増）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### (モノづくり事業)

当セグメントには、三井屋工業株式会社、佐藤工業株式会社、天竜精機株式会社及び株式会社アペックスのモノづくり企業が含まれております。

「オートモーティブサプライヤー（自動車内外装部品製造、自動車精密部品製造）」におきましては、半導体等の部品供給不足が解消し、自動車メーカーの国内生産は高水準で推移していることに加えて、製造スタッフの多能工化を推進し更なる生産性向上を実現したことで、固定費比率が低下いたしました。

「FA装置製造」におきましては、顧客の設備投資が足踏み状態で推移しており、引き続き受注確定に遅れが生じております。

「試作品製作」におきましては、2023年1月10日付で株式会社アペックスの全株式を取得し連結子会社化し、当第3四半期累計期間においては、期首から取り込んでおります。

この結果、当セグメントの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は前年同四半期に比べ4,018,107千円増加し、13,836,768千円（前年同四半期比40.9%増）、セグメント利益は前年同四半期に比べ398,343千円増加し、588,052千円（前年同四半期比210.0%増）となりました。

#### (プロフェッショナル・ソリューション事業)

当セグメントには、当社及びセレンディップ・テクノロジーズ株式会社が含まれております。

「コンサルティング」におきましては、事業承継課題や経営課題を抱える中堅・中小企業が今後益々増加していく社会的背景があり、中堅・中小モノづくり企業から事業承継案件、事業再生案件の当社への持ち込みが増加しております。また、中堅・中小企業の基幹システムの再構築需要の増加により、ITコンサルティングのニーズが増加していることに伴い、当社コンサルティング事業部の売上は前期比48.1%増と伸長し、当セグメントの増収要因となりました。一方で、経営課題を抱える中堅・中小企業の課題解決・成長に更に寄与するための積極的な人材採用を継続的に実施しております。

「エンジニア派遣・受託開発」におきましては、中堅・中小企業の成長を支援するため、経営基盤の強化、エンジニアのリスキリング強化、当セグメントの成長に寄与するため当社コンサルティング事業部との連携による新しいIoTソリューションの開発とDXに注力しております。

この結果、当セグメントの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は前年同四半期に比べ119,822千円増加し、1,048,668千円（前年同四半期比12.9%増）、セグメント損失106,866千円（前年同四半期はセグメント損失49,551千円）となりました。

#### (インベストメント事業)

当セグメントには、セレンディップ・フィナンシャルサービス株式会社が含まれております。

従来から、事業承継問題に機動的に対応すべく、案件の発掘・開拓に注力してまいりました。モノづくり企業を中心とした再生型事業承継支援サービス、フィナンシャル・アドバイザー等の企業経営サポートを積極的に進め

ており、特にフィナンシャル・アドバイザー案件数の増加が増収・増益に寄与いたしました。また、2023年2月に組成した「日本ものづくり事業承継基金1号投資事業有限責任組合」からの管理業務に伴う報酬の受取も発生しております。

この結果、当セグメントの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は前年同四半期に比べ187,169千円増加し、266,519千円（前年同四半期比235.9%増）、セグメント利益134,194千円（前年同四半期はセグメント損失6,472千円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ424,416千円増加し、8,165,679千円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が494,694千円減少した一方で、現金及び預金が757,946千円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ399,091千円増加し、8,826,291千円となりました。これは主に、有形固定資産が186,836千円減少した一方で、投資有価証券が時価評価により622,365千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は16,991,971千円となり、前連結会計年度末と比べ823,507千円の増加となりました。

### (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ82,519千円増加し、5,889,187千円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が115,095千円減少したことや未払金が195,350千円減少したこと、賞与引当金が116,536千円減少した一方で、電子記録債務が534,627千円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ261,042千円減少し、5,621,399千円となりました。これは主に、長期借入金が446,240千円減少した一方で、投資有価証券を時価評価したことにより繰延税金負債が187,549千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は11,510,587千円となり、前連結会計年度末に比べ178,523千円の減少となりました。

### (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,002,030千円増加し、5,481,384千円となりました。これは主に、利益剰余金が548,062千円増加したことその他有価証券評価差額金が413,510千円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年11月9日公表「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,012,071	3,770,018
受取手形、売掛金及び契約資産	3,294,581	2,799,887
営業投資有価証券	80,000	80,000
商品及び製品	77,360	90,357
仕掛品	329,412	269,407
原材料及び貯蔵品	373,636	483,520
未収入金	468,667	473,537
その他	105,533	198,950
流動資産合計	7,741,263	8,165,679
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,221,260	4,278,915
機械装置及び運搬具	5,074,441	5,159,761
工具、器具及び備品	8,945,305	9,117,495
土地	2,149,797	2,149,797
リース資産	410,251	439,196
建設仮勘定	140,239	89,800
減価償却累計額	△14,963,865	△15,444,373
有形固定資産合計	5,977,429	5,790,593
無形固定資産		
ソフトウェア	90,401	76,069
ソフトウェア仮勘定	884	6,533
のれん	65,494	51,493
リース資産	3,927	1,402
無形資産	19,250	14,000
その他	4,517	4,487
無形固定資産合計	184,474	153,987
投資その他の資産		
投資有価証券	1,725,690	2,348,055
関係会社株式	13,045	22,296
長期前払費用	254,805	236,433
繰延税金資産	133,848	112,663
保険積立金	16,662	18,744
長期営業債権	301,522	318,476
その他	122,044	146,000
貸倒引当金	△302,322	△320,959
投資その他の資産合計	2,265,296	2,881,710
固定資産合計	8,427,200	8,826,291
資産合計	16,168,464	16,991,971

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,853,194	1,738,098
電子記録債務	740,194	1,274,821
短期借入金	600,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	799,877	767,503
リース債務	47,301	45,439
未払金	517,614	322,263
未払費用	150,572	185,062
前受金	58,160	29,300
未払法人税等	227,529	129,076
未払消費税等	171,224	203,466
賞与引当金	387,242	270,706
製品保証引当金	15,135	7,406
受注損失引当金	21,928	10,957
設備関係支払手形	172,024	98,747
その他	44,668	106,337
流動負債合計	5,806,667	5,889,187
固定負債		
長期借入金	4,639,400	4,193,160
リース債務	113,856	106,674
資産除去債務	54,753	55,104
退職給付に係る負債	267,007	271,486
繰延税金負債	703,894	891,443
その他	103,530	103,530
固定負債合計	5,882,442	5,621,399
負債合計	11,689,110	11,510,587
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,114,030	1,132,267
資本剰余金	2,000,852	2,019,078
利益剰余金	1,181,782	1,729,844
自己株式	△104,819	△104,819
株主資本合計	4,191,845	4,776,371
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	287,508	701,019
その他の包括利益累計額合計	287,508	701,019
新株予約権	-	3,993
純資産合計	4,479,353	5,481,384
負債純資産合計	16,168,464	16,991,971

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	10,517,402	14,813,126
売上原価	8,907,523	12,245,450
売上総利益	1,609,878	2,567,676
販売費及び一般管理費	1,476,194	1,952,296
営業利益	133,684	615,379
営業外収益		
受取利息	17	14
受取配当金	52,640	60,376
持分法による投資利益	-	9,251
為替差益	24,173	18,549
受取補償金	59,415	79,905
その他	41,415	27,635
営業外収益合計	177,661	195,732
営業外費用		
支払利息	67,002	42,147
貸倒引当金繰入額	23,150	18,637
営業外支払手数料	14,103	2,333
訴訟関連費用	71,996	7,320
その他	12,575	6,289
営業外費用合計	188,829	76,728
経常利益	122,516	734,383
特別利益		
固定資産売却益	-	201
保険解約返戻金	9,980	-
受取保険金	138,760	-
特別利益合計	148,740	201
特別損失		
固定資産売却損	183	849
固定資産除却損	46	254
役員特別功労金	30,000	-
特別損失合計	30,229	1,104
税金等調整前四半期純利益	241,027	733,480
法人税、住民税及び事業税	81,371	184,592
法人税等調整額	31,542	825
法人税等合計	112,913	185,417
四半期純利益	128,113	548,062
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,250	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	125,863	548,062



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	128,113	548,062
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△243,361	413,510
その他の包括利益合計	△243,361	413,510
四半期包括利益	△115,248	961,573
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△117,498	961,573
非支配株主に係る四半期包括利益	2,250	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	モノづくり 事業	プロフェッ ショナル・ ソリューション事業	インベスト メント事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,818,661	627,441	71,300	10,517,402	—	10,517,402
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	301,404	8,050	309,454	△309,454	—
計	9,818,661	928,846	79,350	10,826,857	△309,454	10,517,402
セグメント利益又は損失(△)	189,708	△49,551	△6,472	133,684	—	133,684

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	モノづくり 事業	プロフェッ ショナル・ ソリューション事業	インベスト メント事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,836,288	710,469	266,369	14,813,126	—	14,813,126
セグメント間の内部売上高又は振替高	480	338,199	150	338,829	△338,829	—
計	13,836,768	1,048,668	266,519	15,151,956	△338,829	14,813,126
セグメント利益又は損失(△)	588,052	△106,866	134,194	615,379	—	615,379

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。